

## 会議資料のペーパレス化

多くの推進校から、職員会議等の資料をペーパレス化する効果が報告されています。

### 北海道 校務DXの取組に関するダッシュボード (R6・2月現在) <文部科学省>

#### 学校内(教師間)の連絡のデジタル化

完全にできている 半分以上できている

1 校内での資料共有	65% (全国比+32%)	87% (全国比+20%)
2 校内での情報共有	78% (全国比+ 6%)	78% (全国比+6%)

#### ペーパレス化の効果

- 印刷コストの軽減
- ゆとりある資料作成が可能
- 資料の事前共有による会議時間削減
- 会議後、繰り返し内容確認可能(閲覧性や検索性向上)

#### より良い活用のポイント

- ▽作成・保存するフォルダの保存や活用方法のルール化
- ▽会議後、修正された内容を共有するルール化
- ▽個々の職員が、手元に印刷した資料の扱い(廃棄基準の明確化)

#### 効果と働きやすさの共有

- 取組前との印刷費用比較から、削減分の活用内容可視化
- 印刷担当職員の印刷時間削減による業務配分の見直しと時間対効果の可視化
- 個々の効果実感を言語化する機会の設定

#### もう一步先へ進化させる

- クラウド上にフォルダを設定(児童・生徒が閲覧できない環境とすることが重要)
- どこからでも資料保存、会議参加ができる環境整備
- 少人数の会議は、非同期型で推進し、業務効率化

第3期アクション・プランでは、学校の取組として「会議資料のペーパレス化やスケジュール管理のオンライン化、クラウド上の教材の教員間での共有、学校と保護者等間の連絡手段を原則としてデジタル化するなど、校務処理の負担軽減を進める。」と「ICTの活用による校務効率化の推進」Action1(1)の中で提唱しています。